希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんに役立つ情報や応援メッセージをお待ちしています。「ここにいます」「さがしています」「がんばろう」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

ここにいます

〈宮城県〉
★津田美枝子さん(69)＝東松島市大曲下台（大曲小）　私は無事です。義弟の津田守さん(62)が矢本にある妻とみ子さん(55)の実家に身を寄せて、毎日自転車でとみ子さんと息子の仁さん、サトシさんを捜し回っています。とみ子さんが子どもたちを浜に捜しに行ってから、行方が分かりません。無事なら実家に来てください。

★茄子川ひで子さん(78)＝東松島市大曲土手下南（大曲小）　地震が来た後、津波から車に乗って逃げようと思ったのですが、道路が渋滞していたので歩いて2キロぐらい逃げ、どうにか助かることができました。いとこの佐々木つね子さん、たつをさん（いずれも60代）夫婦の安否が分からず、心配しています。私たち夫婦は元気です。

★相澤数子さん(71)＝東松島市大曲下台（大曲小）　夫と2人で避難しています。近くに住む弟の正美(65)と妻の豊子さん(61)、長男のまことさん(30)と連絡が取りたいです。私は夫と2人で無事でいます。

★高橋正子さん(68)＝東松島市大曲浜（大曲小）　息子と2人で避難し、大曲横沼のおじいちゃん、娘、孫の5人で避難所生活をしています。石巻市渡波に住むおいの熊谷智さん（40代）、寛子さん一家の安否を心配しています。

さがしています

〈岩手県〉
☆大船渡市の高橋清さん、妻の菜保子さんへ　東京都板橋区、ドリトル動物病院の笹倉紀子さん(55)が連絡を待っています。高橋さんは高橋動物病院の院長で、菜保子さんは以前ドリトル動物病院に勤めていました。笹倉さんは「動物たちの医療活動を手伝いたい」と話しています。

☆大船渡市三陸町吉浜の小坪敏子さん(64)と兄の松川幹雄さん（70代前半）、姉の大船渡市三陸町越喜来とよこさん(表記不明、60代後半)、妹の大船渡市立根町、こんのあやこさん（同、60代前半）、弟の大船渡市、松川ひさおさん（同、60歳ぐらい）へ　5人のいとこ、神奈川県座間市の日向澄子さん(66)が自宅（046・256・7353）で連絡を待っています。敏子さんの家は、息子さんが釣り宿をやっていました。幹雄さんは、大船渡市三陸町吉浜で民宿川古荘を営んでいました。どんな手がかりでもほしいです」

〈宮城県〉
☆東松島市の市川イシさん(81)へ　弟で横浜市神奈川区の飯田力三さん(75)と妻のみち代さん(70)より。「避難所の定林寺にお孫さんといるようですが、体調を心配しています。自宅（045・421・6349）に電話をください」

☆亘理町の古館義男さん(64)へ　岩手県二戸市の小中学校で同級生だった、埼玉県嵐山町の太田徹さん(64)より。「同級生のみんなが心配しています。自宅（0493・62・5590）に連絡ください」

☆東松島市の小松たつ子さん(61)とご家族へ　大阪のバス会社で同僚だった、鹿児島県伊佐市の馬庭（まにわ）由美子さん(61)より。「同期のみなも心配しています。自宅（0995・22・4305）に電話をください」

☆仙台市太白区の西照子さんへ　知人で大阪市淀川区の治部（じぶ）康利さん(90)が連絡を待っています。「亡くなったご主人は、ニューブリテン島でともに戦った戦友です。自宅（06・6392・5109）に電話ください」

☆気仙沼市の内海（旧姓・斉藤）一枝さん(73)へ　友人で和歌山県紀の川市、神森（旧姓・唐牛＝からうし）和子さん(74)が心配しています。「1945年、青森から仙台市立原町小学校に転校した時、最初に声を掛けてくれました。ご無事を祈っています」

☆石巻市の青木靖子さん(57)、夫の三夫さん(60代)へ　友人で北海道登別市の桶（おけ）範子さんが「自宅（0143・85・7102）に連絡を」と呼び掛けています。イトーヨーカドーで同僚だったそうです。

☆石巻市の加藤えり子さん(51)へ　都留文科大の同級生で静岡県小山町の杉山智也子さんが自宅（0550・78・0086）への連絡を待っています。加藤さんは小学校教諭だそうです。

〈福島県〉
☆浪江町の大橋敏さん、玉子さんへ　友人で川崎市高津区の田尻正敏さん(68)が、自宅（044・752・3047）への電話を待っています。大橋さんは工務店を経営しています。

☆旧・梁川町の石井絹江さん、夫の三郎さんへ　友人で以前福島に住んでいた、京都府宇治市の磯崎一代さん(75)が自宅（0774・32・1891）に連絡を求めています。「何度も電話をしていますが誰も出ません。ご無事でしょうか」

☆いわき市の鮎沢寿久さんへ　登山仲間で大阪府泉佐野市の池上昌司さんより。「はがきを出しましたが返信がありません。落ち着かれたらはがきでも下さい」

ツイッターでも随時発信

ツイッター（@mainichi_kibou）でも、被災した皆さんへのサポート情報や、各地の支援の動きを随時発信しています。これまでのツイートはこちらで検索できます。
http://bit.ly/frO91P

みつかりました

▽25日に掲載した福島県浪江町請戸の鳥美好さん(60)は、新潟を見て埼玉県上尾市の細田政一郎さん(65)に翌朝電話しました。鳥さんの実家の旅館と自宅は津波で流されましたが、家族は無事で福島県会津若松市に避難しています。鳥さんは、同県二本松市に移転した浪江町役場で仕事をしていて「今月、定年退職する予定だったが延びそうだ」と語りました。細田さんは「忙しそうで短い時間しか話せなかったが、無事でよかった」。

▽26日掲載の岩手県矢巾町の佐々木せい子さんから、捜していた教え子で大阪市旭区の近藤直子さん(50)に同日、「新聞を見た」と電話がありました。自宅で元気に過ごしているそうです。

▽27日掲載の、同県大船渡市の舟野ミドリさん一家も、掲載の前夜に連絡がとれたそうです。親族には津波に流された人もおり、捜していた東京都江戸川区の山田幸枝さん(65)は「被災された方の役に立つことをしたい」と願っています。

▽27日掲載の岩手県釜石市の佐々木邦子さん(71)から同日夕、投稿した松村幸子さん(70)に電話がありました。「新聞を見た友人が避難先の小学校に伝えに行ったと聞きました。家は津波に流されたそうです」

みなみらんぼうさん

●宮城県栗原市出身のシンガー・ソングライター、みなみらんぼうさん　取材で訪れた筑波山系の山から下山した時、あの地震に遭遇しました。山が咆哮（ほうこう）するようでした。地震多発地帯で生まれ育ち、チリ地震（1960年）の津波被害も覚えている僕は、震源は三陸ではないかと直感しました。

宮城県の山側に位置する栗原の友人たちに電話をしたら、自身も被災者なのに、もっと大きな被害を受けた海側の人たちのことに心を痛めていました。

先日テレビで、被災地の先生が子供に「この試練を乗り越えれば、一生強く生きていける」と励ましている場面を見ました。まさにそれじゃないでしょうか。若い人たちがここで踏ん張れば、いくという気持ちを忘れずにいたら、大丈夫ですよ。

理想の街作り、港作りといった未来の展望を持って、この試練を克服して下さい。

がんばろう

●昨年、脳出血を発症した軽度障害者です。同じように脳血管障害を患っておられる被災者の安否が気になります。重度の障害がある方や、血圧の管理が欠かせない方が多いと思います。疲労やストレスも再発を招きかねません。自分の体験を生かして何かお手伝いできたらと思いますが、今は節電に努めるべきです。病状が悪化しませんようにお祈り申し上げます＝東京都新宿区、無職、衣笠文子さん(46)

●被災地で仮設住宅建設が始まったという新聞記事の写真に、電気工事士らしき人が写っていました。今は引退しましたが私は電気工事士で、資格も持っています。人手不足の被災地でボランティアとして手助けになれればと思っています＝滋賀県甲賀市、無職、堀場康弘さん(68)

希望新聞ツイッターに寄せられたメッセージより

●あなたが生きていてくれて良かった。がんばってくれてありがとう＝charmie_jp

●被災している方の気持ちや感情は十分に理解できていないかもしれません。立ち上がれなくなるまで我慢しないで、周りに助けを求めてください。一緒に未来を作っていきましょう！＝_takt_one

サポート情報
～東日本大震災～
27日現在

医療

〈岩手県〉
岩手医科大付▽県立磐井▽県立二戸▽県立宮古は通常診療。県立釜石▽県立大船渡▽県立久慈は救急のみ。盛岡赤十字は通常診療

〈宮城県〉
◆仙台市　以下は通常診療＝仙台逓信▽東北労災▽仙台社会保険▽東北公済▽仙台厚生▽仙台市立▽仙台赤十字◆仙台市外　塩釜市立は通常外来診療▽石巻赤十字は救急と薬処方のみ▽気仙沼市立は一部外来受け付け

〈福島県〉
県立医大付属▽福島労災▽総合磐城共立は通常診療。公立相馬総合は救急外来のみ。問い合わせは県地域医療課☎024・521・7221

電気・ガス

東北電力管内では27日午前10時現在、約19万3000戸が停電中。残る停電地区は工事車両の進入が難しいところもあり、復旧には時間がかかりそう。停電地区の内訳は、宮城県11万9904戸▽岩手県3万5038戸▽福島県3万7570戸など。

ガスは多くの地域で未復旧。仙台市ガス30万5770戸▽常磐共同ガス1万1055戸▽塩釜ガス9515戸▽釜石ガス6342戸▽京葉ガス1977戸など。

入浴

営業時間などの変更の可能性がある。

〈岩手県〉▽花の湯（釜石市野田町1☎0193・25・0268）▽湯ったり館（宮古市茂市☎0193・72・3800）

〈宮城県〉◆仙台市内　パワー温泉リフレ泉パークタウン店（泉区高森4☎022・777・2615）整理券配布▽極楽湯仙台南店（太白区西多賀5☎022・243・4126）午前8時から整理券配布▽汗蒸幕のゆ（泉区市名坂南前☎022・776・7077）1人45分

◆仙台市外　極楽湯名取店（名取市田高原☎022・383・1126）午前8時から整理券配布▽とみや大清水ゆっぽ（富谷町大清水1☎022・348・0522）1人30分▽遠刈田温泉の旅館など（蔵王町観光協会☎0224・34・2725）▽鳴子温泉郷の66施設（鳴子観光・旅館案内センター☎0229・83・3441）

〈福島県〉◆極楽湯福島いわき店（いわき市葉山2☎0246・76・1926）午前10時から整理券配布▽きつねうち温泉（白河市東釜子狐内☎0248・34・1126）31日まで無料。1人30分、午前8時半から整理券配布▽ゆ処高見（南相馬市原町区高見町2☎0244・24・5666）

〈茨城県〉▽鹿島セントラル天然温泉ゆの華（神栖市大野原4☎02999・90・0261）▽中郷温泉通りゃんせ（北茨城市中郷町日棚☎0293・44・0026）被災市民に31日まで無料開放。1人15分、午後1時から整理券配布▽健康保養センターときわ路（常陸太田市増井町☎0294・72・4141）

■自衛隊入浴支援
※タオルなど持参
〈岩手県〉津軽石小（13～22時）▽山田高（11時半～21時）▽山田南小（シャワーのみ、13～21時）▽シープラザ釜石（12～21時）▽盛小（12～20時）▽米崎小（8～21時）▽大槌町ふれあい公園（12～21時）

のり養殖用にくみ上げていた地下水を生活用水にしている内海優さん（奥）。息子の瑠衣斗君が洗い物をしている周りで遊んでいた
＝宮城県石巻市で27日午後、梅村直承撮影

〈宮城県〉気仙沼小（8～20時）▽南三陸町ベイサイドアリーナ（10～18時）▽女川町総合運動公園（8～12時、13～17時、18～20時）▽石巻市消防本部グラウンド（8～18時）▽万石浦中（10～18時）▽航空自衛隊松島基地（男性13～14時、女性15～16時。基地正門前コンビニ駐車場からバス送迎）▽山下小（5～23時）▽亘理町中央児童センター（5～20時）▽逢隈中（5～22時）

〈福島県〉▽向陽中（12～21時）▽あづま総合運動公園（女性13～18時、男性18～21時）▽田村市総合体育館（29日まで12～22時）▽ビッグパレットふくしま（10～12時、15～20時）

給水

給水場所の問い合わせ先は以下。ポリタンクなどの容器持参を。

〈宮城県〉
◆仙台市水道局コールセンター☎022・748・1111◆気仙沼市ガス水道部管理課☎0226・23・9900◆石巻地方広域水道企業団☎0225・95・6711◆登米市水道管理課☎0220・52・3311◆大崎市水道部配水課☎0229・24・1164◆栗原市水道課☎0228・42・1130◆多賀城市上水道部管理課☎022・368・1141◆塩釜市水道部☎022・364・1411、1412◆名取市水道事業所☎022・384・2111◆岩沼市役所☎0223・22・1111◆松島町災害対策本部☎0222・354・5701◆利府町上下水道課☎022・767・2111◆富谷町災害対策本部☎022・358・3111◆亘理町安全対策班☎0223・34・1111◆山元町上下水道事業所☎0223・37・1120

〈福島県〉
◆相馬地方広域水道企業団災害対策本部☎0244・35・1020◆南相馬市水道課☎0244・24・5271◆いわき市水道局☎0246・22・9310◆郡山市水道局浄水課☎024・932・7646◆白河市水道部☎0248・27・3221◆矢吹町災害対策本部☎0248・42・2112

〈茨城県〉
◆北茨城市水道部☎0293・43・1111◆常陸太田市施設課☎0294・72・3111◆ひたちなか市水道事業所☎029・273・0111

商業施設

西友　28日午前10時から、仙台市内の12店舗で24時間営業を再開する。再開は以下の店舗。八幡町▽上杉▽五橋▽南仙台▽宮城野原▽勝山公園▽木町▽吉岡▽燕沢▽鶴ケ谷▽北仙台▽小田原。

イトーヨーカドー　東北地方の全10店舗で、ほぼ通常営業。宮城県の石巻あけぼの店は食品フロアのみ。

ヤマザワ　宮城県内の19店舗中5店舗が休業。5店舗は、長町南▽荒井▽中田▽塩釜中の島▽汐見台。山形県内は全店で営業。

電話

NTT東日本は無料の特設公衆電話を設置している。24日以降の主な新設場所は以下の通り。（Cはセンター）

〈岩手県〉奥州市中沢公民館▽大槌町中央公民館安渡分館▽龍昌寺▽綾里中▽末崎地区公民館▽蛸ノ浦漁村厚生施設▽吉浜地区拠点C▽旧釜石商高▽普代村役場▽つなぎ温泉愛真館▽つどいの森こもれびの宿▽長栄館▽ホテル加賀助▽JAいわて中央農村環境改善C▽矢巾地区農業構造改善C

〈宮城県〉▽老人福祉C内町荘▽岩見保育所▽大島小▽本吉総合支所▽条南中▽太田二区自治会館▽面瀬中▽小原木中▽大谷公民館▽月見ケ丘小▽赤坂中央集会所▽増田小▽館腰小▽館腰公民館▽増田西公民館▽愛島公民館▽増田西小▽高館小▽矢本一中▽関ノ内地区学習等供用施設▽赤井地区体育館▽矢本二中▽小野小▽小野公民館▽道地地区学習等供用施設▽小分木生活C▽鹿妻地区学習等供用施設▽五味倉生活C▽大曲小▽下町地区学習等供用施設▽丸森まちづくりC▽海蔵寺▽折立中▽西花苑コミュニティ▽第一勝山集会所▽県庁▽仙台商高▽南光台東小▽六郷市民C▽若林総合体育館▽亘理小▽亘理町役場▽飯野川中▽相川保育所▽門脇中▽石巻高▽石巻市立女子高▽釜小▽大街道小▽住吉小▽蛇田公民館▽住吉幼稚園▽中里小▽石巻商高▽稲井公民館▽渡波小▽万石浦中▽住吉中▽遊楽館▽鹿妻小▽石巻北高▽水産高▽湊小▽石巻市役所▽大河原町総合体育館▽津山若者総合体育館▽豊里多目的研修C

〈福島県〉▽健康福祉プラザ銀山荘▽おじまふるさと交流館▽七瀬集落区長宅▽船引体育館▽農業短大

ボランティア

全国社会福祉協議会がウェブサイトでボランティア活動の注意事項を掲載している。被災地への移動や食事、宿泊などは原則、自ら手配・確認を。

東北3県の県外からの受け入れ状況は以下の通り（VCはボランティアセンター）。

〈岩手県〉
県VCによると、避難所で高齢者らを世話する介護職ボランティアが不足している。希望者は、宮古市VC（☎090・4478・3984）▽釜石市VC（☎080・2802・2511）▽陸前高田市VC（☎080・2251・7327）へ。

〈宮城県〉
県VCによると、屋内外の片づけを中心に需要が高まっており、汚れてもよい服装を。希望者は、多賀城市VC（☎080・5949・7501）▽亘理町VC（☎080・4076・1906、090・6853・1097）▽塩釜市VC（☎080・1679・8989）▽石巻市VC（☎0225・23・6011～2または6014～5）へ。

〈福島県〉
相馬市VC（☎0244・36・7827）が募集を始めた。救援物資の積み下ろしや仕分け、炊き出しの人員のほか、看護師や介護士らを募集。「ウエブサイト（http://d.hatena.ne.jp/somasaigai/）を見て現地の状況などを確認してほしい」と呼びかけている。

HPで避難者名簿

岩手、宮城、福島の3県はホームページ（HP）で、各県内の避難者名簿を公表している。他県に避難した住民も一部掲載している。宮城県は「避難者情報ダイヤル」（☎022・211・3430）で問い合わせに対応。福島県も「避難所入所者情報センター」（☎024・521・5543～4）で対応している。

×

宮城、福島の両県警は相談が寄せられた行方不明者の一覧をHPで掲載中。岩手県警を含む3県警は、見つかった遺体に関する情報もHPで掲載している。

■主な問い合わせ先■

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000
福島県警　0120・510・186

●ライフラインなど
NTT災害用伝言ダイヤル　171
東北電力　0120・175・366

●医療
＜人工透析＞
▽岩手県　人工透析相談窓口　019・629・5471
▽宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111
（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221
＜その他＞
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談　0120・366・556（平日10～15時）
あしなが育英会　0120・77・8565
（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916
（13～22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン支援センター　0120・99・7777（月～土16～21時）
多文化共生マネージャー全国協議会
▽英語　080・3503・9306
（他に中国語、スペイン語などの窓口あり）
＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」がパソコンや携帯電話のホームページで情報提供。「全国盲ろう者協会」もホームページで安否や支援情報を掲載（音声読み上げソフト向け）

●省庁
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567

●金融機関など
岩手銀行　0120・064・626
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　022・723・1111
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫　0120・154・505
そんがいほけん相談室（日本損保協会）
0120・107・808または03・3255・1306
生命保険相談所（生保協会）　0120・226・026

●交通機関
JR東日本　050・2016・1600
JAL（国内線）　0570・025・071
ANA（国内線）　0570・029・222

その他

■映　画
上映を中止したり時間を変更することもある。

〈岩手県〉
シネマリーン（宮古市小山田2・マリンコープDORA2階）「ドラえもん　新・のび太と鉄人兵団」①10時50分②13時10分、「相棒　劇場版Ⅱ」①10時40分②13時10分。4月1日まで。当面は特別料金（一般1500円、シニア・学生1000円、中学生以下800円）

▽ワーナー・マイカル・シネマズ北上（北上市本通り2・さくら野百貨店北上店5階）▽フォーラム盛岡（盛岡市大通2・MOSSビル5階）▽アートフォーラム（同市大通2・サンライズタウンビル5階）▽盛岡ピカデリー（同市中央通1）▽盛岡ルミエール（同市菜園2）▽盛岡中央映画劇場（同市中央通1）▽盛岡東宝（同市中央通1）

〈宮城県〉
フォーラム仙台（仙台市青葉区木町通2）▽チネ・ラヴィータ（同市宮城野区榴岡2・BiVi仙台駅東口2階）

〈福島県〉
郡山テアトル（郡山市駅前2）▽会津東宝（会津若松市中央1）

計画停電 対象地域を細分化

25グループに きょうから実施

東京電力は27日、地域別で順番に電力供給を停止する計画停電について、対象地域を25グループに細分化した新たな区分けに基づく28日の停電予定を発表した。同日は午前9時20分から開始予定の第2グループのうち、A（栃木県の一部）、B（埼玉県の一部）、C（千葉県の一部）の3地域で実施し、午前の第1グループと、午後の第3と第1、第2グループの2巡目は見送る。また、午後の第4、第5グループについては正午をめどに実施の有無を決める。

東電は25日に新区分を発表したが、26日に続き27日も停電を終日見送ったため実際の運用は28日からとなる。

東電によると、28日は午前中冷え込み暖房需要が増える見通し。午前9時過ぎに供給能力ぎりぎりの3750万キロワットまで需要が伸びそうなため、第2グループ（全体で297万戸）のうち、A～Cの155万件に限って停電を行うことにした。

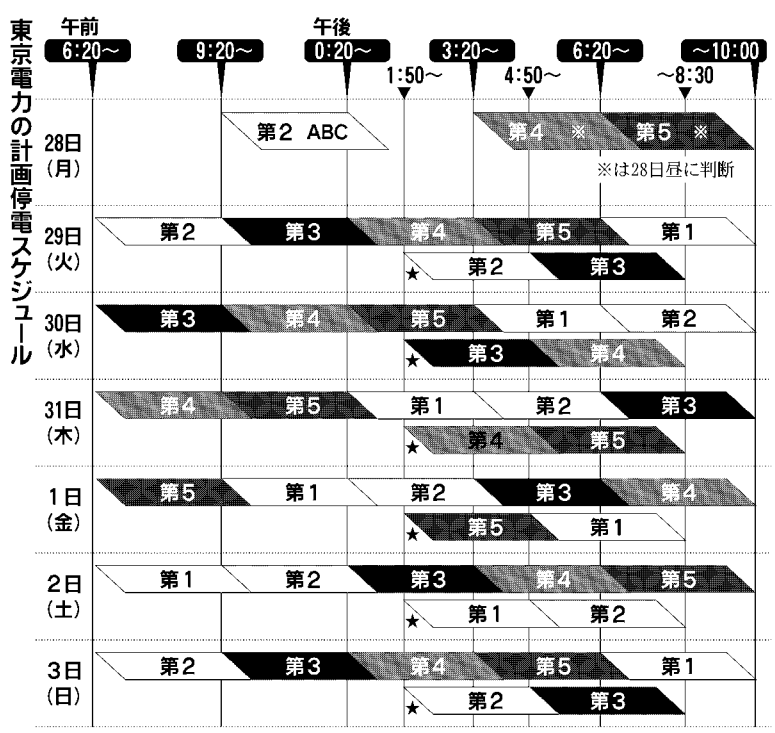
東電は従来、第1～第5グループごとに停電の実施予定を公表。しかし実際には、同じグループ内でも停電の有無が分かれることがあり、利用者の間で混乱が生じていた。

ただ午後の計画停電については、実施の有無だけでなく、実施する場合にA～Eのどの地域が対象になるかも前日には分からない状況が続く。藤本孝副社長は27日夜の会見で「（午後の分もA～Eの区分で前日に公表できるか）明日以降の実績を見て考えたい」と述べた。【青木勝彦】

詳細な一覧表を都県ごとに公開

東電ホームページ

東電は、計画停電の対象地域を25の小グループに細分化した詳細な一覧表を、同社ホームページ（http://www.tepco.co.jp/index-j.html）で各都県ごとに公開している。また都県名・市区町村名、町名・大字名とたどっていけば自宅などの所在地がどの小グループに属するか分かる検索サービスもホームページ上で始めた。地域分けは変更になる場合があり、ホームページを日々更新する予定。問い合わせ専用ダイヤル（0120・925・433）は土日を含め24時間対応する。



各グループの停電は3時間程度ずつ。電力需要が想定を大きく上回った場合、午前中の停電予定2グループを、午後（★の時間帯）の計画停電に加えることがある

漂流船舶254隻

すべて無人

沖合の捜索ほぼ終了

海上保安庁は27日、東日本大震災の津波で沖合に流された船舶が254隻で、すべて無人だったと発表した。沖合の捜索救助活動は続けているが、漂流船の発見はほぼ終わったとしている。国土交通省は巡視船でえい航した漂流船を係留する区域を岩手、宮城、福島の3県6港に約300隻分確保した。

国交省や海保によると、見つかったのはクレーン台船などの大型船が10隻、漁船やプレジャーボートなどの小型船が244隻。大半は沿岸から約20キロ以内で見つかったが、茨城県沖約340キロまで流されたプレジャーボートもあったという。

大型船はほぼ無傷で船体番号などから1隻を除き所有者を特定。一方、小型船は半数が沈没しかけており所有者特定は困難という。

船舶の廃棄は所有者が行い、所有者不明の場合は自治体が処分する。政府は被災地のがれき撤去費についてはほぼ全額負担する方針だが、漂流船はえい航してもがれきと認定されない可能性があり、費用負担が課題となりそうだ。【石原聖】

南部杜氏 入魂の銘酒

酒の温度管理に目を光らせる南部杜氏の菅原栄一さん＝26日午後1時、森撮影

いわきの蔵元

福島県いわき市の老舗蔵元「四家酒造店」が震災後も酒造りに励んでいる。地震で市内の大部分が断水したが、緊急的に井戸水を使用して切り抜けた。

岩手県から来た南部杜氏が、同じように被災したふるさとを気にかけながら、精魂込めて地元の銘酒を仕上げている。

四家酒造店は江戸時代後期の1845年の創業で、日本酒「又兵衛」が親しまれている。震災があった11日は、もろみを搾る作業を間近に控えた日だった。タンクが揺れ、もろみの約80リットルがこぼれるなどの被害があった。

市内は断水し、酒蔵の水は1週間出なかった。池の水で、こぼれたもろみを酒蔵から洗い流し、タンクの酒は外から井戸水をかけて冷ました。そして、27日には、高温にした湯釜に酒の入った管を通して殺菌する総仕上げの「火入れ」にこぎつけた。

仕込みをするのは、優れた伝統の醸造技術をもつ南部杜氏。岩手県花巻市から来た菅原栄一さん(72)は、三陸海岸が津波被害に遭い、ふるさとでも流された蔵元があることを知った。「胸が痛んで、何でもいいから物資を届けたい」と心配した。

だが、酒づくりの途中で、杜氏が酒蔵を離れることはできない。四家良一社長(69)は「いわきにとどまってくれた職人のこころに頭が下がる」と感謝する。

福島県産品は、原発災害による放射線量への過度の警戒から、客離れが心配されている。だが、四家社長は「今年の酒は、すっきりした口当たりに仕上がっている。風評被害を吹き飛ばしたい」と意気込む。菅原さんも「酒を造る責任を全うしたい」と、最後の作業に没頭している。

【町田徳丈、森禎行、種市房子】

ふるさと被災も仕込み続行

「原発を止めて」 市民ら1000人デモ

銀座

原発反対を訴え、銀座の街を歩くデモ参加者ら＝東京都中央区で27日午後2時7分、手塚耕一郎撮影

東京電力福島第1原子力発電所の事故を受け、原発に反対する市民ら約1000人が27日、東京・銀座をデモ行進し、「すべての原発を止めて」「エネルギー政策の転換を」と訴えた。

原水爆禁止日本国民会議など反原発の市民団体らでつくる「再処理とめたい！首都圏市民の集い」が主催。参加者は横断幕を掲げ、銀座から東京電力本社前を通って日比谷公園まで約3キロを歩いた。

デモに加わった東京都大田区の杉原浩司さん(49)は「原発の危険性が改めてはっきりした。国には情報公開を徹底し、まずは東海地震による危険性の高い中部電力浜岡原発を早急に止めてほしい」と話した。【市川明代】

都内の避難所を両陛下30日訪問

天皇、皇后両陛下が30日、東日本大震災の被災者が生活する東京都内の避難所を訪問する方針が固まった。今回の震災で両陛下が避難所を訪れるのは初めて。都によると27日現在、都が開設する避難所は3カ所で、岩手、宮城、福島などからの被災者は計約580人。区などが窓口になっている避難所を合わせると、都内では16カ所に約1000人が避難している。両陛下が訪問する避難所は1カ所で、約1時間の見込み。【真鍋光之】

◆認知症110番

毎日新聞社と認知症予防財団の電話相談「認知症110番」（協力・アフラック）は、今週は28日（月）と31日（木）の10～15時。電話は0120・654874（老後心配なし）。

また財団と提携する順天堂大学医学部精神医学教室の医師による認知症相談室も開設中。順天堂大学に直接ではなく、右記フリーダイヤルで予約。患者を直接診察していないので、診断、投薬などの指示はできないが、認知症一般の医学的相談に回答することで、本人と家族の理解を深め、不安の軽減に努める。

希望新聞

救援物資の仕分け作業を

遠くの被災地より

阪神大震災で被災

檜垣龍樹さん(49)

＝兵庫県西宮市、NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事

阪神大震災があった95年1月17日の早朝は、兵庫県尼崎市の自宅書斎で仕事をしていました。寝室のベッドには、タンスが倒れていました。「よく助かったな」と思います。その後、友人が災害支援のボランティアを始めたので手伝いました。それがNPO法人設立につながります。

東日本大震災を見て感じるのは圧倒的な被害の規模です。地震だけではなく津波や原発事故。最初はどこからどこまでが被災地か、分かりませんでした。

「ボランティアをやりたい」という問い合わせは多数あります。しかし今、現地に入ってもガソリンを使うし、食料調達も難しいので、逆に負担をかけてしまいます。新潟県の中越地震以来、我々は新潟の被災地の人々と交流があります。現在、新潟には福島県から多くの方が避難しているので、当面はそこを手伝いに行くことにしました。

また、各地の自治体が市民からの救援物資を受け付けています。ボランティアにはその仕分け作業などにあたってほしいと思います。被災地で支援することも大事ですが、遠くからできることはあります。

阪神大震災の時、東北の方々にはお世話になったので、何とか役に立ちたいと思っています。今回、印象的なのは、多くの人々が募金を集める側に回っていることです。

我々も時間がかかりましたが、復興することができました。必ず復興はできるという希望を持ってください。【聞き手・浜名晋一】

Q&A

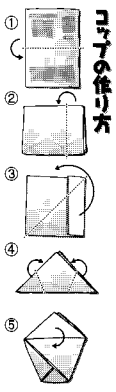
Q 避難生活で食器が足りないときは？

A 新聞紙を活用できます

阪神大震災で被災し、主婦目線の防災に詳しい神戸市の料理研究家、坂本廣子さんに教えてもらいました。

食器が壊れてしまったり十分な数がない時は、新聞紙で作ったお皿にポリ袋をかぶせて代用できます。お茶や水のほか、みそ汁やスープなど汁物を入れるのに重宝します。

コップの作り方



イラスト・立川善哉

作り方＝イラスト参照＝は、①新聞紙1枚を二つに折る②正方形になるよう余りの部分を折る③対角線で折り、三角形にする④左右の端を折り畳み五角形にする⑤上部の三角を1枚分、手前に折って袋になった所に差し込む。もう1枚は裏側に折る――で、出来上がったコップの中にポリ袋をかぶせて完成です。

熱いものなら、もう1枚重ねて折ると安心です。別の新聞紙を細長く折り畳んで輪を作り、底の部分に合わせると、倒れずに置けます。汁物以外を入れるなら、アルミホイルやラップを敷いても○K。衛生上、中に入れる袋やホイルは使い捨てにしましょう。洗わないので節水にもなります。

新聞紙の活用法は他にもあります。日本ボーイスカウト岐阜県連盟事務局長の木村芳郎さんは「新聞紙を四つ折りにしておなかに挟むだけで温かい」。体に巻く時は一度クシャクシャにして伸ばして巻き、上着の下に着込みます。ひもがあれば腰で巻くと、より固定します。津波で被災した家の片付けでは、家具などの泥を落とすのにも使えます。【反橋希美】

ミニニュース

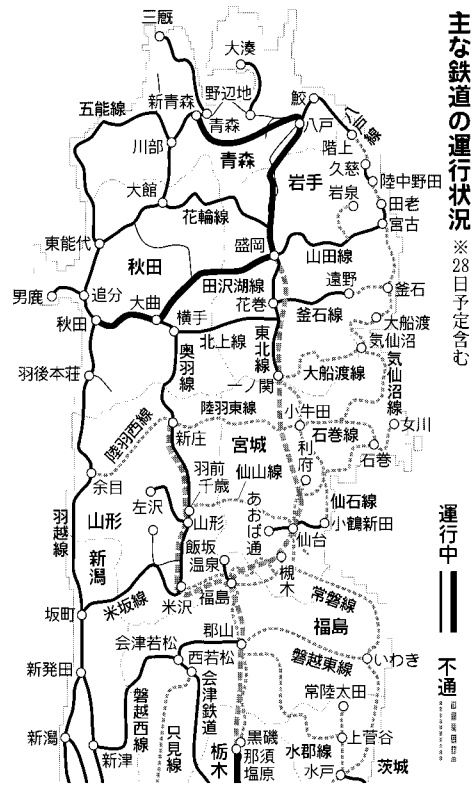
■京都府が被災者向けシャトルバス　京都府は28日から、東日本大震災で近畿圏へ避難を希望する被災者を無料で運ぶ「京都シャトルバス」を走らせる。現地に派遣している府職員が戻る際に乗る大型バス（定員60人）に便乗させる。5日ごとに1便を予定。福島県会津若松市を中心に、同県内の避難所を回って希望者を乗せ、京都府庁まで運ぶ。近畿各地に向かう人には、電車や車の移動費も府が負担する。

希望者は各避難所で世話をしている自治体職員らに申し出るか、府災害支援対策本部☎075・414・5930へ。

■寺院が被災家族受け入れ　家や職を失った人らを受け入れる取り組みをしてきた行持院（宮城県亘理町逢隈小山与平谷地61、真壁太隆住職）が、地元近くでの避難を望む3家族を受け入れる。7～10畳の3和室。風呂、トイレ、洗濯機は共用。共同炊事で食費、宿泊料は無料。自立のめどが立つまで滞在期限はなし。問い合わせは同寺院☎0223・32・0168。

主な鉄道の運行状況

※28日予定含む



◆主な鉄道の運行状況◆

●新幹線
<東北新幹線>盛岡―新青森、東京―那須塩原は運行。那須塩原―盛岡は不通
<秋田新幹線>盛岡―秋田で運行
<山形新幹線>4月上旬に再開予定
<上越、長野新幹線>全線で運行
●JR在来線の再開見込み
※28日は仙石線のあおば通―小鶴新田、左沢線の全線（北山形―左沢）が運行再開予定。同日夜には釜石線の花巻―遠野が再開予定
<東北線>郡山―本宮が29日、仙台―岩切が31日。岩沼―仙台が4月2日。岩切―利府、本宮―福島、安積永盛―郡山が4月上旬
<仙山線>山寺―山形が4月1日、仙台―愛子が4月上旬
<磐越東線>郡山―船引が31日
<只見線>小出―大白川が29日、会津若松―会津坂下が30日
<奥羽線>福島―米沢が4月上旬
<陸羽西線>新庄―余目が4月上旬
<陸羽東線>小牛田―新庄が4月上旬
<常磐線>土浦―勝田が4月上旬
●その他
<三陸鉄道北リアス線>宮古―田老、陸中野田―久慈は運行
<仙台市地下鉄>富沢―台原は運行

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル　0120・297・722
＊9～18時受け付け

希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。入居は原則無料。全国の公営住宅、UR賃貸住宅の空き室は計約2万戸。28日からは、有料の民間賃貸住宅の案内も始める。

◆近隣都県の避難者受け入れ先◆

<岩手県>県内陸部の宿泊施設で受け入れ。県政策地域部の専用☎019・629・5216
<山形県>県避難者支援班☎023・625・1605、1608、023・630・3100
<秋田県>県被災者受入支援チーム☎018・860・4504～5
<青森県>県生活再建・産業復興局☎017・734・9580
<新潟県>相談窓口＝東北電力ビッグスワンスタジアム☎025・287・8861。小・中学校、高校への転入学や公営住宅入居についても相談窓口あり。
<茨城県>とねミドリ館（古河市）など。県災害対策本部☎029・301・6735、029・301・5977
<栃木県>相談窓口＝道の駅「那須高原友愛の森」☎0287・78・3033
<群馬県>県避難者受入れ支援センター☎0270・26・9420～1、9423
<東京都>東京ビッグサイト（江東区）など。都総合防災部☎03・5320・4007
<神奈川県>県立武道館（横浜市）など。県災害支援担当☎045・210・5970
<埼玉県>自治人材開発センター（さいたま市）など。県福祉監査課☎048・830・3440
<千葉県>県の専用インフォメーションセンター☎043・223・3411
<山梨県>県相談窓口☎055・223・1519
<長野県>県相談窓口☎026・235・7407

◆主なバスの運行◆

<岩手県北バス>☎019・654・5814
盛岡―郡山を1日2往復運行。郡山で福島空港行きなどに接続できる。盛岡―宮古（9往復）、盛岡―久慈（2往復）など。
<岩手県交通>☎019・654・7755
盛岡―大船渡、盛岡―陸前高田（各1往復）、盛岡―釜石、江刺―仙台（各2往復）など。一関・千厩―気仙沼も運行している。
<ミヤコーバス>☎022・771・5310
仙台―石巻は8往復に増便。仙台と温泉地の山形県上山市を結ぶ路線を再開した。仙台―多賀城は臨時延伸。仙台―東松島・矢本地区（2往復）、仙台―気仙沼（1往復）のほか、仙台市内から塩釜、白石、岩沼市、亘理、利府、山元町へも運行。
<福島交通>☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
福島―若松（4往復）、郡山―二本松（6往復）、白河―須賀川（7往復）など。相馬―仙台、相馬―福島の路線は新地町役場に停留所を新設。いわき―郡山も運行中。那須塩原駅と郡山市内を結ぶ緊急路線も運行。
<近鉄バス>☎06・6772・1631
29日から大阪・京都と福島・郡山、仙台を結ぶ路線を再開。
<名鉄バス>☎052・582・0489
仙台―名古屋間で特別運賃の緊急支援バスを4月26日まで運行。